

ポジティブ心理学から見た災害後コミュニティの復興とレジリエンス

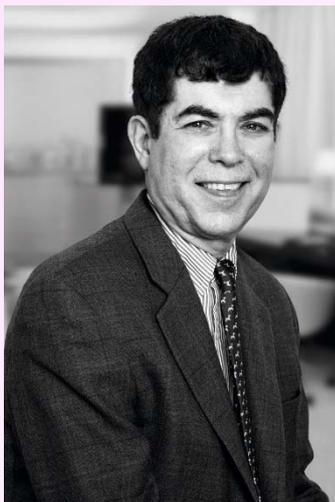
講師:エドワード・ホフマン博士
日時:10月26日(水)10:00~12:00
場所:創思館 401・402教室
参加者:応用人間科学研究科の院生と教員



ポジティブ心理学は、1998年、セリグマンによって創設され、米国を中心に研究推進されてきた。人間性心理学の流れをひき、個人や組織、社会のあり方が本来あるべき正しい方向に向かう状態に注目し、科学的に検証、実証を試みる心理学の一領域と定義されている。欧米を中心に急速に関心が高まり、2007年には学会が設立され、多くの大学や民間組織で授業が開講、近年では日本、中国、インドでも関心が広がり、経営学や政府レベルでも導入されている。

本講演では、ポジティブ心理学に依拠して、復興とレジリエンスを強化する方法について話す。その要因は、個人の人格特性(たとえば、オプティミズム、説明スタイル)と社会的支援の質に関係している。「利他」がもたらす肯定的な心理的效果に関する講師による国際的研究の最近の知見も交えながら考察する。

通訳:村本詔司(神戸市外国語大学名誉教授)



講師:エドワード・ホフマン博士

NYのイエシヴァ大学准教授、東京大学客員教授。人間性心理学やトランスパーソナル心理学の生みの親であるマスローやアドラーの研究で知られ、20冊以上の著書がある。邦訳の『真実の人間—マスローの生涯』(誠信書房)・『アドラーの生涯』(金子書房)は受賞。近年はポジティブ心理学でも知られ、教科書“POSITIVE PSYCHOLOGY: THE SCIENCE OF HAPPINESS & FLOURISHING”を共著で出版し、大学におけるポジティブ心理学のコースを創設した。最新の著書は『幸福への道:日々、生活に喜びを加える50の方法』。

資料の準備などの都合上、参加希望の方はメールでお申込みください。メール件名【ホフマン博士講演会申込】
メール本文には学生証番号・氏名を記載してください。 kitagw-a@st.ritsumeai.ac.jp <申込締切10月24日(月)>
※申込受付完了のメールを返信いたしますので、締切を過ぎても申込完了のメールが届かない場合は1度お問い合わせください。

<問い合わせ先>衣笠独立研究科事務室
Tel 075-465-8375 Mail doku-ken@st.ritsumeai.ac.jp